

実践、実務で使える、EXCELで始める「スループット会計」

儲かるスループット会計

説明書

初版 2021年11月15日

商品概要

商品名称：儲かるスループット会計

商品バージョン：1.0

動作環境：Microsoft Excel

本商品は、「制約条件の理論（TOC 理論）」に則った会計である「スループット会計」を実践するためのツールです。

多くの企業は、どんぶり勘定や財務会計、税務会計の決算書（損益計算書）をベースに、誤った経営判断、意思決定を行い、**利益とキャッシュフローの最大化を阻害**しています。

スループット会計は「**現在および将来にわたって、お金を儲けること**」を企業の目的として、「財務会計の計算上の利益ではなく、キャッシュの獲得」を経営目標に、「全体最適」「選択と集中」の効率的な経営を実践するための経営理論です。

この経営理論（本商品）のポイントは、企業の儲け(キャッシュ)を阻害しているボトルネック、制約を特定し、そこだけを徹底的に改善することで、儲けを最大化できます。

簡単に言えば、「そこを改善すれば儲かる」が分かります。反対に、「そこ以外を改善すると損します」が分かるのです。また、何を目標に改善すればいいのか（改善目標）と、その改善内容で儲かるのか、事前に分かります。

スループット会計（本商品）では、企業の活動を「**スループット**」「**在庫**」「**業務費用**」の3つの指標で管理し、「**利益**」として評価します。本商品は、実務でこの3つの指標やボトルネックを管理し、利益を最大化するための経営管理活動シートです。

スループット会計（本商品）は非常に簡単です。やってみると、「今まで何で、そんな事に気づかなかったのか」と思う程、簡単です。

本商品は、この経営理論を実際に実務で実践するためのツールで、以下のような経営判断、意思決定を正しく行うことができます。以下の改善、施策は儲かるのか、減益にならないのか、を事前に判断できます。

本商品では、以下の中の★記の事例について、具体的な数字を使用した「活用事例」を収録してあります。

- ★改善が必要な生産工程と必要無い工程
- 製品販売の優先順位
- ★設備投資の意思決定
- 費用を掛けた加工時間短縮の効果
- ★価格が高い材料に変更した加工時間短縮の効果
- 製品の外注化判断
- ★値下げして販売数量増の経営判断
- 段替え時間の短縮効果

今すぐ、どんぶり勘定、決算書での経営判断を止め、本商品にてスループット会計を始める必要があります。

「儲かるスループット会計」の用語

●スループット

販売を通じて金（キャッシュ）を儲ける割合のこと。製品を販売することによって得られる利益の増加分を示します。（財務会計の限界利益に似ています）

$$\text{スループット} = \text{売上} - \text{材料費}$$

●在庫

原材料、仕掛品、完成品の在庫を意味します。

最終的に、在庫は在庫金額で評価しますが、材料費のみの金額で表します。

財務会計、税務会計のように加工費を含めた金額、評価方法は必要ありません。会社は税金ではなく儲け続けるために、在庫を金額で表すことができれば十分なのです。

●業務費用

前項の材料費以外のすべての費用です。

●利益

スループット会計上の利益で、会社の儲けを表す指標です。

$$\text{利益} = \text{スループット} - \text{業務費用}$$

$$\text{利益} = \text{売上} - \text{材料費} - \text{業務費用}$$

●ボトルネック・ボトルネック工程

製品が完成、出荷するまでに通る工程の中で、最大化のネック（ボトルネック）になっている工程のこと。**工場全体の生産量は、ボトルネック工程の生産能力で決まってしまう。**

●制約

会社の儲け、利益の最大化を妨げているもの。

<主な制約>

- 当該企業にとって不足している需要や受注（生産能力に余力がある状態）
- 需要や受注をこなせない生産工程
- 誤っている経営方針、意思決定
 - ・財務会計の決算書による経営判断
 - ・儲かるスループット会計を導入しないという決定

ご注意

- 当然ですが、本商品の購入、導入による、儲かるを保証しません。
(儲かるためには、適切な経営判断、改善、投資が必要です)
- 本商品は、スループット会計に関する商品の製作、販売を行う会社やコンサルタントへの販売は行いません。

本商品の対象者

- 中堅・中小企業の製造業 (自社の環境により、飲食業、運送業、サービス業にも適用が可能です)
- スループット会計を勉強したい、社会人、学生
- 上場企業、大企業で、工場別に一部のラインや工程のスループットを把握したい方

著作権

本商品の著作権は、「MG's コンサルティング」にあります。

本商品を無断で、販売、転売、流通、公開、本商品の改造品の販売など、一切の行為を固く禁止します。

また、本商品を使用してのコンサルティングも固く禁止します。

目次

<はじめに>	- 6 -
① 最大データ量（取扱いデータ量）	- 6 -
② 印刷時のご注意	- 6 -
③ 使用している主な関数.....	- 7 -
④ 「セルの背景色」、「合計行」、「ブックの保護」について	- 7 -
<準備編>	- 9 -
●はじめに.....	- 9 -
■「儲かるスループット会計」に必要な情報一覧.....	- 9 -
1. 基本情報.....	- 10 -
2. 標準時間.....	- 11 -
3. 製品スループット.....	- 13 -
4. 業務費用.....	- 14 -
5. 減価償却費（経済耐用年数）	- 15 -
6. 在庫金額.....	- 17 -
<活用編>	- 18 -
●はじめに.....	- 18 -
■活用方法 一覧.....	- 18 -
7. 制約判定.....	- 19 -
8. 業績評価.....	- 21 -
<活用事例>	- 23 -
●はじめに.....	- 23 -
■活用事例 一覧.....	- 23 -
入力例	- 24 -
A. 工程改善	- 25 -
B. 投資改善	- 27 -
C. 材料変更	- 29 -
D. 値下増量	- 31 -
<お問い合わせ>	- 33 -

<はじめに>

① 最大データ量（取扱いデータ量）

本商品を使用して計算できる「最大データ量（上限）」を、下表に記載します。

本 EXCEL ファイルで上限を超えて使用する場合は、適した改造が必要になりますので、お問い合わせください。

種類	取扱い最大データ量（上限）
製品数	200 品目
工程数	20 工程 ※製品が投入、排出される設備群で、必ずしも、設備の台数ではありません。
費用明細数	15 費目 材料費、その他変動費を除く、労務費、減価償却費などの費用明細の数です。
工程の固定資産	500 台 ※加工設備の台数です。固定資産台帳の中で直接、生産に寄与する生産設備の数と概ね、等しくなります。

**※むやみに、列の追加や行の追加、セルの移動は行わないでください。
正しく計算されない場合があります。**

② 印刷時のご注意

「儲かるスループット会計」の EXCEL ファイルでは、「最大行数」として、データ量に汎用性を持たせています。従いまして、最大行数に達しない場合には、データの入力されていない「罫線だけのページ」も出てまいります。

お手数ですが、印刷する際は、**必ず、印刷するページの範囲を指定して印刷**をお願いします。